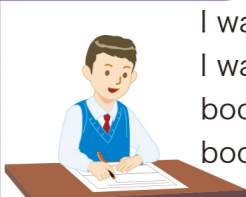


問題と回答例

Q. あなたが今、「やってみたいこと」や「やっておくべきだと思うこと」について、自分の考えを書きなさい。

A2下位 回答例



I want to read many books. Because books are interesting. I want to read liking books everyday. Sunday is read the books. I want to writing books. Because I have to read many books. But it's difficult.

A2下位の特徴

センテンスを**接続詞**などで繋げて簡単なアイデアを**シンプル**な英語で表現できます。

A2上位 回答例



I want to read books in free time. Because reading is fun and inportant. I want to be writer in the future. So, I read many books. My goal is many kinds of books everyday. For example, histry, and love story, and so on. And I can know many thing by books. I can read other people's thinking in books. I think this is inportant. So, I want to read the books.

A2上位の特徴

複数の**センテンス**を繋げて**日常的なトピック**についてアイデアを表現できます。

※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

帯活動を使った指導案

なかなかまとまったWritingの指導時間が取れない場合は、毎授業の始めに短い帯活動を行ってみてください。日常に関するトピック(例:What did you do this weekend?)を示し、生徒に3分間ノートに書かせるなどがあります。短時間でアイデアを英語にすることに慣れ、長い英文が書けるようにする活動なので、誤りを訂正する必要はありません。

A2下位 → A2上位を目指すための**指導案**

目標 3文以上を順序立てながら長めの英文が書ける



目安時間
45分

準備物 **ピクチャーストーリー**

ピクチャーストーリーは、4コマのうち最後の2コマを隠す。



簡単な英語の単語とセンテンスで表現できるものを選ぶとよい。

ステップ

1

(全体)

- ピクチャーストーリーを黒板に貼る。ストーリーの内容を説明する必要はない。
- 生徒に最後の2コマでストーリーがどのように終わったか考えさせ、アイデアを日本語で共有させる。

ステップ

2

(全体)

- 生徒に各コマのアイデアを“I”を主語にして口頭で共有させる。
- 各コマを繋げるのに役立つ表現をいくつか板書し紹介する(例:then, after that, next day, so)。
- 生徒にそれらの表現を使ったストーリーを口頭で共有させる。



ステップ1で出てきたいろいろなエンディングを想定して、様々なストーリーを生徒から引き出すとよい。

ステップ

3

(各自)

- 新しい4コマのストーリーを黒板に貼る。
- 生徒に英語で“I”を主語にしたストーリーをノートに書かせる。

ステップ

4

(ペア)

- 生徒をペアに分け、各自で書いたストーリーを口頭で共有させる。
- お互いのアイデアを使いペアごとにストーリーを完成させ、ノートに書かせる。

ステップ

5

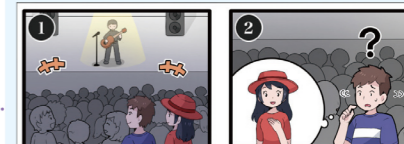
(全体)

- 数ペアにストーリーを板書させる。



ユニークで面白いと思ったストーリーや、上手に英語で表現できているものは特に褒めるとよい。

ピクチャーストーリー例



1 コマ目:少年と少女がコンサートに来ている。
2 コマ目:少年が少女とはぐれてしまった。



1 コマ目:親子が公園でサッカーをしている。
2 コマ目:ピクニックをしている女性の弁当にサッカーボールが当たってしまった。



POINT

教師の関わり方:英語での表現に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。ステップ5で他の生徒が板書したのを見るなどで、自分の誤りに気づいて修正するという、自発的な誤り修正をさせてください。

指導の発展方法:絵本を使い、文字を取り除いた状態で、3~4人のグループでストーリーを考えて書くなどの活動もできます。